

令和4年度 瀬戸まちの課題解決応援補助金 審査結果

はじめの一步活動部門

| 発表順              | 団体名       | 事業名                              | 申請額    | 事業概要   | 交付決定額   | テーマ<br>【協働で取り組む<br>テーマ所管課】 | 関係課                         |
|------------------|-----------|----------------------------------|--------|--|---------|----------------------------|-----------------------------|
| 1                | おっこと進興委員会 | 災害救援活動訓練                         | 80,000 | 【課題】瀬戸市は大きな災害の歴史は少ない。また、核家族の増加や新型コロナによる地域イベントの自粛により、家族や地域など、様々なコミュニケーション不足の問題がある。そのような状況で、突然の災害が発生した場合に、避難所生活をすると不便さから集団パニックになることが懸念される。<br>【事業の内容】防災訓練として、市内小学校に宿泊し、体育館や運動場で野営をし、炊き出しをし、「経験」や「学習」をする。 | 80,000  | 【協働で取り組む<br>テーマ所管課】        | ・危機管理課                      |
| 2                | 山の道の会     | ハイカーとマウンテンバイカーとの共存               | 80,000 | 【課題】コロナ禍でハイキング等の野外活動が増えた。観光名所でもある中馬街道は、大雨の後は、倒木等の被害がある。その都度整備をしないとハイカーとマウンテンバイカーが利用する道の存続が難しくなり、山全体も荒れてくる。<br>【事業の内容】(1)道の整備(2)ハイカーとマウンテンバイカーのルールについて講習を行う。  | 80,000  |                            | ・環境課<br>・文化課                |
| 3                | ひだまりSUNち  | 子供の笑顔がきらきら輝く街へ「自分の力で生き抜く子供たちと共に」 | 80,000 | 【課題】地域から孤立した家族もあり、見えるはずのSOSをみないふりしていることも増えている。コロナ禍で子どもが主体的に活躍できる場所が少ない。子どもたちの居場所が限定的になっている。<br>【事業の内容】(1)ワンコイン体験教室(浴衣の着付け教室等)(2)ワークショップ(地域の方を講師に招き編み物教室等)(3)こどもマルシェ(職業体験等)(4)ママ向けの講座の体験会               | 80,000  |                            | ・学校教育課<br>・教育推進課<br>・こども未来課 |
| はじめの一步活動部門 交付合計額 |           |                                  |        |  | 240,000 |                            |                             |

テーマ型協働活動部門

|                  |                           |                                |         |   |           |   |                     |
|------------------|---------------------------|--------------------------------|---------|---|-----------|---|---------------------|
| 4                | 弥生の会                      | ふれあいの中から生まれる多文化共生              | 204,500 | 【課題】日本人住民と外国人住民のコミュニケーション不足<br>【事業の内容】瀬戸や日本の伝統行事に触れてもらう活動を行い、交流をする。浴衣を着て盆踊りを教えたり、外国のダンスや衣装などを教えてもらうことで相互に交流する。  | 204,500   | 国籍の隔てなく市民の暮らしを豊かにする<br>仕組みづくり(多文化共生の推進)<br>【まちづくり協働課】 |                     |
| 5                | 特定非営利活動法人デジタルライフサポーターズネット | デジタルサポーター育成事業「スマホの教え方、教えます」講習会 | 453,000 | 【課題】生活とデジタル技術の融合が進み、スマートフォンやIoT家電などが日常生活に浸透し人々に大きな利便性をもたらしている。一方で、これらを利用したり使いこなしたりできる人とそうでない人の間に生じる格差(デジタルデバイド)が社会問題となっている。<br>【事業の内容】視力や聴力の低下、認知機能の低下、保守的な傾向など高齢者の特徴(フィジカル・メンタル)を理解し適切に対応するスキル向上を目的とした講習会を高齢者と接点の多い市民や事業者等を対象に実施し、適切に対応できる「人」を増やすことで、デジタルデバイド是正を目指す。 | 453,000   | 高齢者が支えあうデジタルデバイス対策                                    | ・高齢者福祉課<br>・社会福祉協議会 |
| 6                | 市民活動団体名古屋スマホ倶楽部All aichi  | 高齢者が支えあうデジタルデバイス対策(スマホ教室)      | 500,000 | 【課題】高齢化が進む中、シニア世代にとってデジタル化の波に乗り切れない時代になっている。<br>【事業の内容】パルティセとや地域交流センターで「スマホ教室」の運営とサポートを行う。手作りテキスト・ホームページ学習やLINEでの情報共有等を行う。  | 500,000   | 【情報政策課】   |                     |
| テーマ型協働活動部門 交付合計額 |                           |                                |         |   | 1,157,500 |   |                     |

両部門交付合計額 1,397,500